発行日: 平成 29 年 7 月 10 日

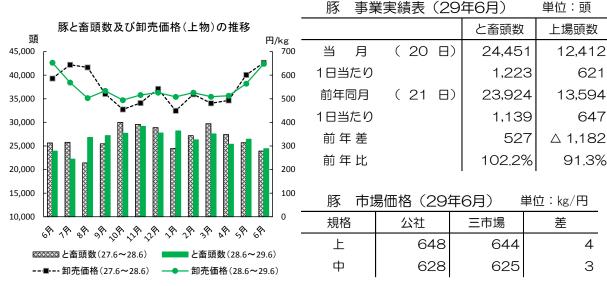
第 7 号 2 0 1 7

一株式会社茨城県中央食肉公社 市場部一

肉 豚

6月のと畜頭数は、24,451頭(1日当たり1,223頭)で、前年同月に比べ527頭増の102。2%、また市場上場頭数は12,412頭(1日当たり621頭)で、前年同月に比べ1、182頭減の91.3%でした。

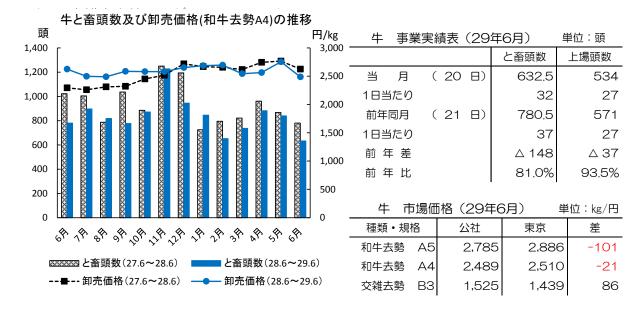
市場価格は上物で平均648円/kg、前月より+84円/kg、前年同月より $\Delta5$ 円/kg、また三市場平均価格との差は+4円/kgでした。



肉牛

6月のと畜頭数は632.5頭(1日当たり32頭)で前年同月に比べ148頭減の81. 0.%、また市場上場頭数は、534頭(和牛229頭、交雑牛133頭、乳牛165頭、子牛7頭)で、前年同月に比べ37頭減の93.5%でした。

市場価格は和牛去勢 A5が 2,785円/kg、A4が 2,489円/kg、交雑牛去勢 B3が 1,5 25円/kgで、東京市場価格(速報値)との差は和牛去勢 A5が Δ 101円/kg、A4が Δ 21



今後の見通し

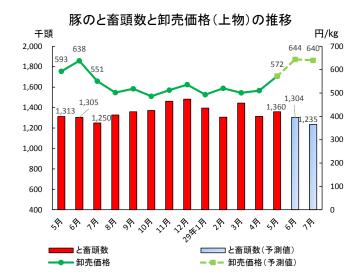
<豚枝肉相場>

農畜産振興機構発表の7月出荷予測頭数は1,235千頭(前年比98.8%)となってい

ることに加え、工場稼働日数は前年同月より1日多いことから、1日当たりの上場頭数は昨年同月より少ない状況が予測される。この供給減は疾病によるところに、季節的なものが合わさる形でしばらく続くことが推察され、それの呼応する形で、高値相場が続くものと予想する。640円前後(116.2%)と予測する。

※相場予想:東京市場、税込み

【上物】 5月実績 572 円/kg 6月速報値 644 円/kg 7月予測値 640 円/kg



<牛枝肉相場>

農畜産業振興機構が6/23に公表した7月の国内出荷予測頭数を品種別にみると、和牛が40.0千頭(前年比99.0%)、交雑牛が19.1千頭(同101.4%)、乳牛(雌含)が28.1千頭(同93.8%)であり、全体では88.5千頭(同97.7%)としている。

枝肉相場は6月初旬から中旬にかけて 梅雨に入ったことから軟調に推移したも のの6月下旬になりやや持ち直した展開 となった。7月から8月にかけての時期 は旧盆向け需要もあり、堅調な相場展開 になるもと見込む。

※相場予想:東京市場、税込み

【和牛去勢】5月実績 2,450 円/kg A4 6月速報値 2,468 円/kg 7月予測値 2,480 円/kg

【交雑去勢】5月実績 1,472 円/kg B3 6月速報値 1,460 円/kg 7月予測値 1,480 円/kg

牛のと畜頭数と卸売価格の推移



- ※と畜頭数は全国値、卸売価格は東京市場価格(いずれも 農水省「食肉流通統計」による。
- ※と畜頭数の予測値は農畜産業振興機構、卸売価格の予 測値は業界誌等による。